# 総合評価方式(土木・造園部門) 実施状況

令和4年10月

街に、ルネッサンス



都市機構

# 総合評価方式実施状況(目次)

	総合評価ガイドラインに	つ	ر ۱ <sup>-</sup>	T										P	2
(1)	総合評価方式の実施状況			-	-			-						P	3
(2)	入札参加者数の推移・・						-				-			P	4
(3)	入札率の分布状況・・・					-	-				-			P	5
(4)	技術評価点の得点状況・						-				-			P	8
(5)	落札者の傾向・・・・・						-				-			P -	10
(6)	工事成績評定の結果・・			-	-	-	-				-			P	12
(7)	総括・・・・・・・													P ·	15

# 総合評価ガイドラインについて(H27.3月~)

### ① タイプ分類

総合評価方式	施工実績確認型	施工技術確認型	技術提案型				
タイプA		タイプB	タイプC	タイプD			
工事内容	比較的簡易 な工事	一般的な工事	工夫の余地が 大きな工事	標準案の設定が 困難な工事			
評価項目	施工実績	施工実績、施工計画	施工実績、技術提案	施工実績、技術提案			
評価値算出方法	加算	方式	除算	方式			

### ②技術評価点のタイプ別の評価項目と配点

評価項目		施工実績確認型 施工技術確認型		技術提案型			
	計画項目	タイプA	タイプB	タイプC	タイプD		
施工実績	①企業の実績 ②配置予定技術者の実績	30点	15点	15点	15点		
	簡易な施工計画(タイプB)	_	25点	_	_		
技術提案 VE提案と VE提案に基づく施工計画		_	_	35点	_		
121111年末	VE提案に基づく施工計画	_	_	_	45点		
	合計		40点	50点	60点		

# (1)総合評価方式の実施状況

- 都市機構(土木・造園部門)におけるR3年度の総合評価方式適用件数は20件であった。
- タイプ別実施状況は以下のとおり。
  - ・実施件数は、タイプAが2件、タイプB が18件、タイプC・タイプDが0件
  - ・工事規模は、タイプAが平均約1億円、タイプBが平均約9億円

#### 表 総合評価方式の実施状況

年度総合評価タイプ	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	合計
タイプA	5 (1)	1 (0)	0	2 (0)	8
タイプB	21 (2)	20 (2)	15 (2)	18 (1)	74
タイプC	0	0	0	0	0
タイプD	0	0	0	0	0
合計(件)	26	21	15	20	82

工事規模 〔億円〕
1 (1)
7 (9)
0
0

注)各年度の上段は件数、下段()は不調・不落件数で外数。

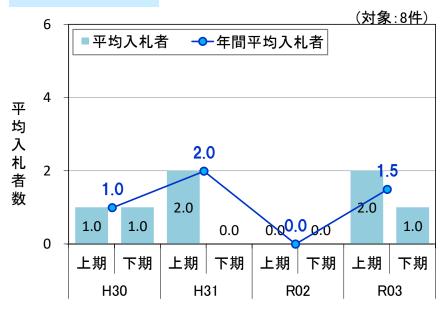
工事規模の上段はH30年度~R3年度の平均工事規模、下段()はR3年度単独の平均工事規模(億円)。

# (2)入札参加者数の推移

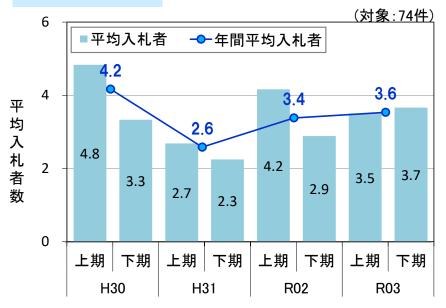
- ■タイプA適用工事では、R3年度の平均入札 者数が1.5者であった。
- ■タイプB適用工事では、R3年度の平均入札 者数が3.6者であり、R2年度に続き平均入札 者数が増加傾向にある。

#### [全タイプ] (対象:82件) 6 ■平均入札者 **→**年間平均入札者 3.4 平 均 2.6 入札者数 4.5 4.2 3.4 3.3 2.9 2.6 2.6 2.3 上期 上期「下期 上期 下期 上期一下期 H30 H31 R02 R03

#### [タイプA]



#### 〔タイプB〕



# (3)入札率の分布状況

### ① タイプAの入札率の分布状況

■R3年度における落札者の平均入札率は85.1%であった。

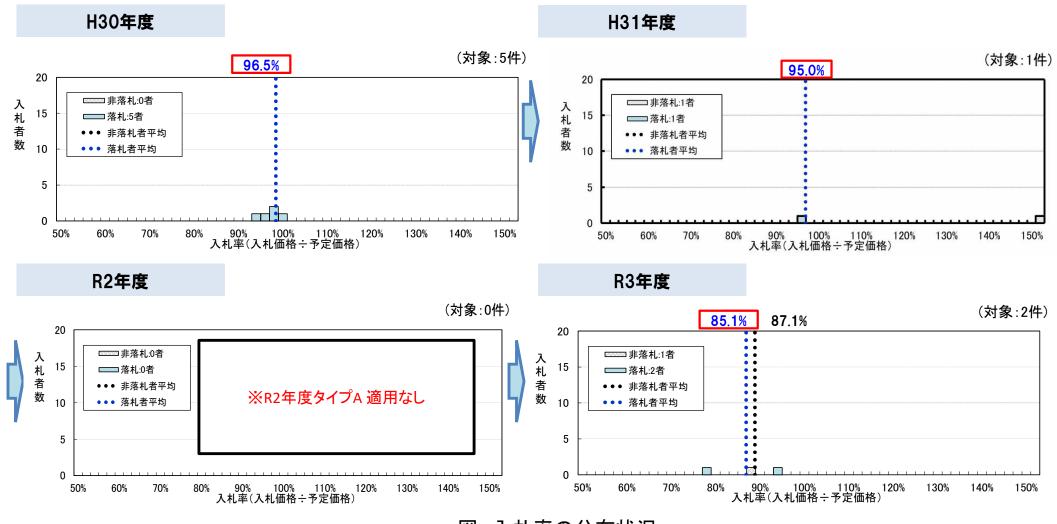
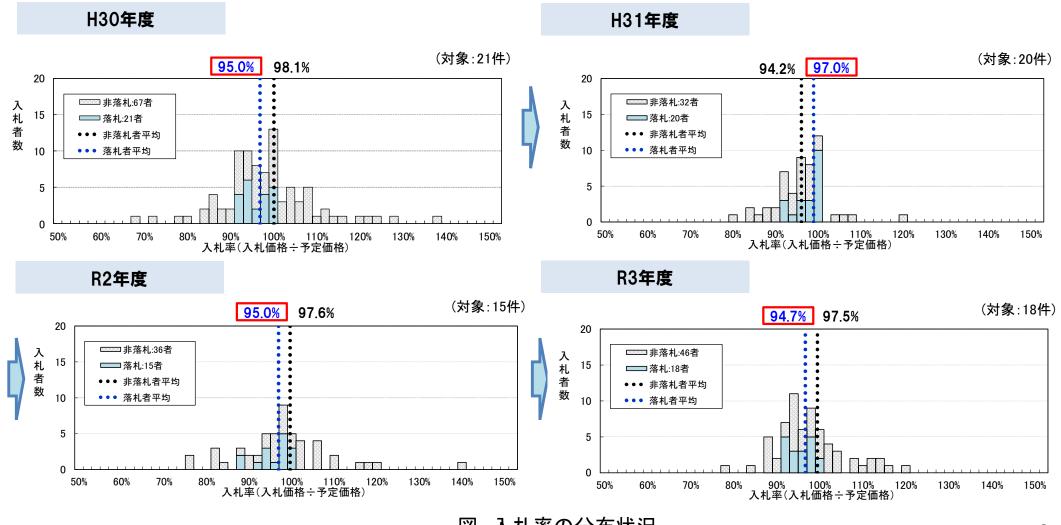


図 入札率の分布状況

# (3)入札率の分布状況

### ② タイプBの入札率の分布状況

■R3年度における落札者の平均入札率は94.7%であり、過去3ヵ年よりも僅かに低い。



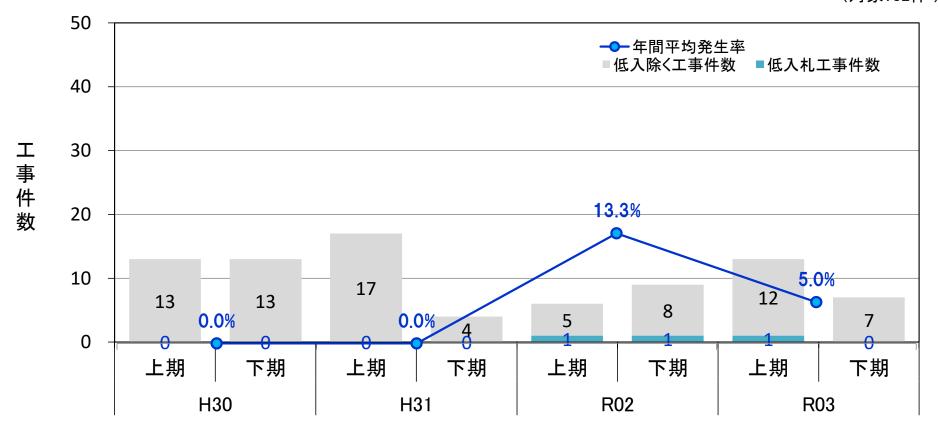
# (3)入札率の分布状況

### ③ 低入札の発生状況

■ 低入札工事は、R3年度は1件発生している。

#### 全タイプ

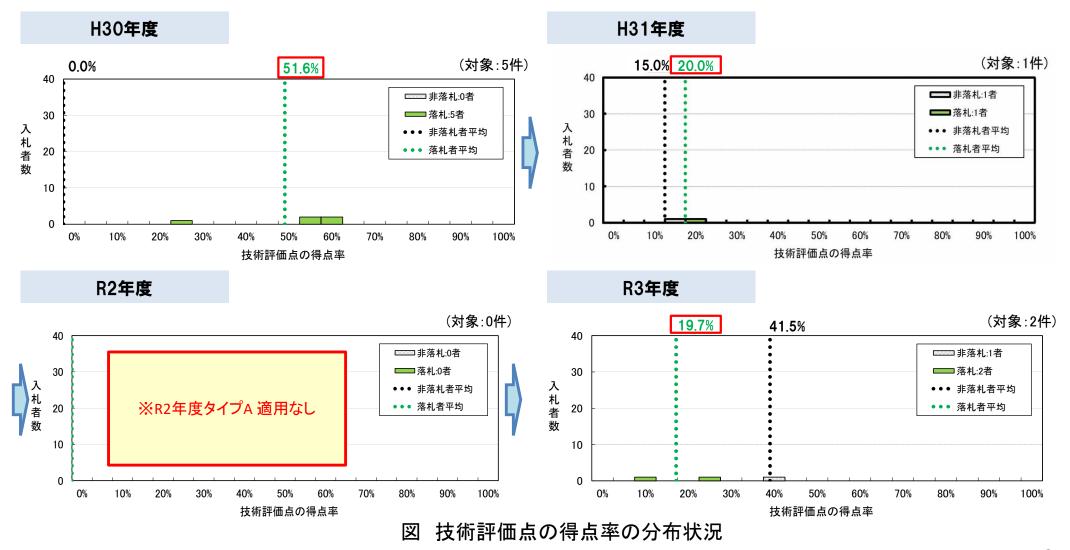
(対象:82件)



# (4)技術評価点の得点状況

### ① <u>タイプA</u>の技術評価点(得点率)の分布状況

■R3年度における落札者の技術評価点得点率は平均19.7%であった。非落札者の技術評価点が落札者を大きく上回った工事(1件)の影響で、非落札者の得点率が落札者より高くなっている



## (4)技術評価点の得点状況

### ② <u>タイプB</u>の技術評価点(得点率)の分布状況

■R3年度における落札者の技術評価点得点率は平均71.2%であり、H30年度以降で最も高い。 非落札者の得点率の平均は58.8%で、非落札者においても得点率は上昇した。

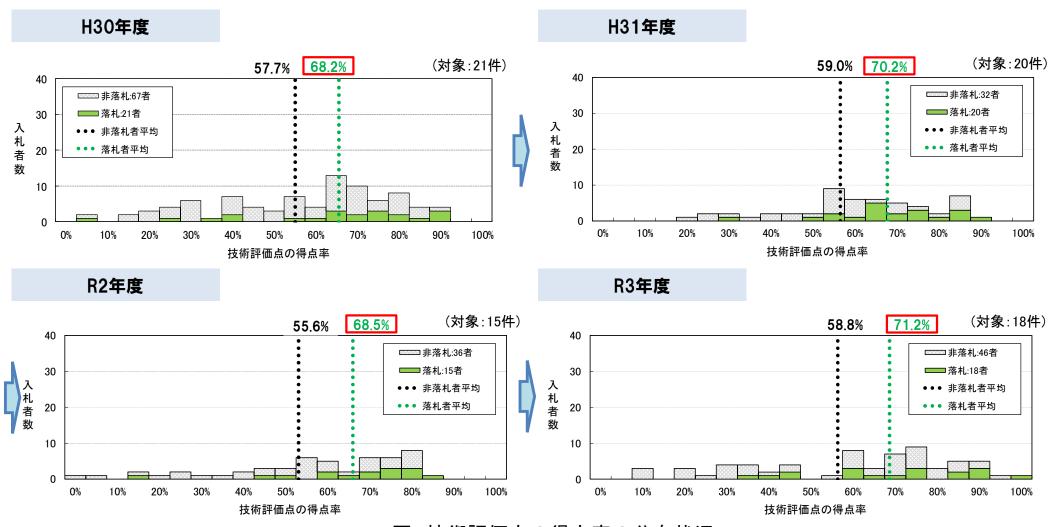


図 技術評価点の得点率の分布状況

# (5)落札者の傾向

### ① タイプAの落札者の傾向

■R3年度はタイプA適用工事のうち1件で競争が行われ、「最低価格者・最高得点者以外」が落札。 ※H30・31年度は適用工事があったものの、複数者応札(予定価格内入札者が2者以上の工事)の工事は無し

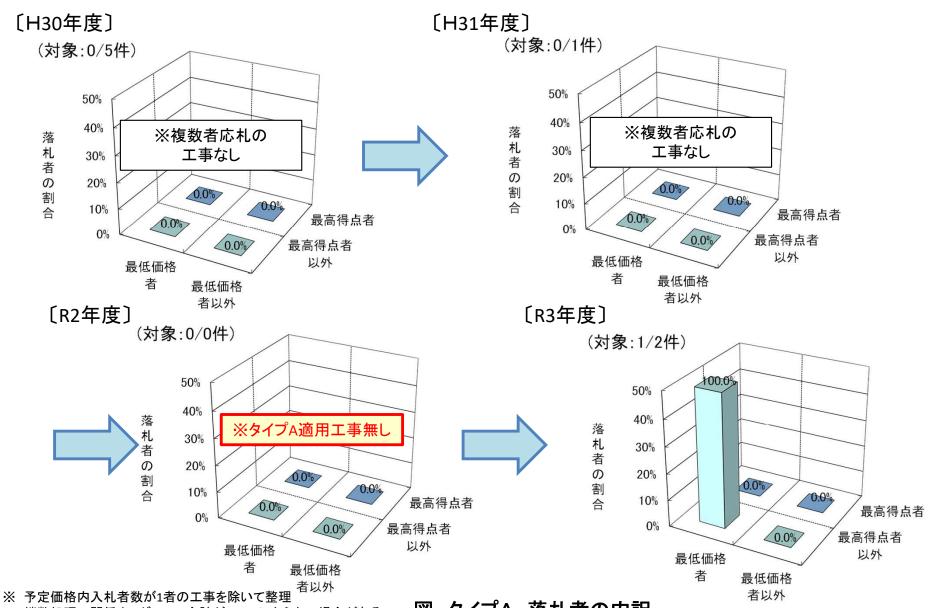
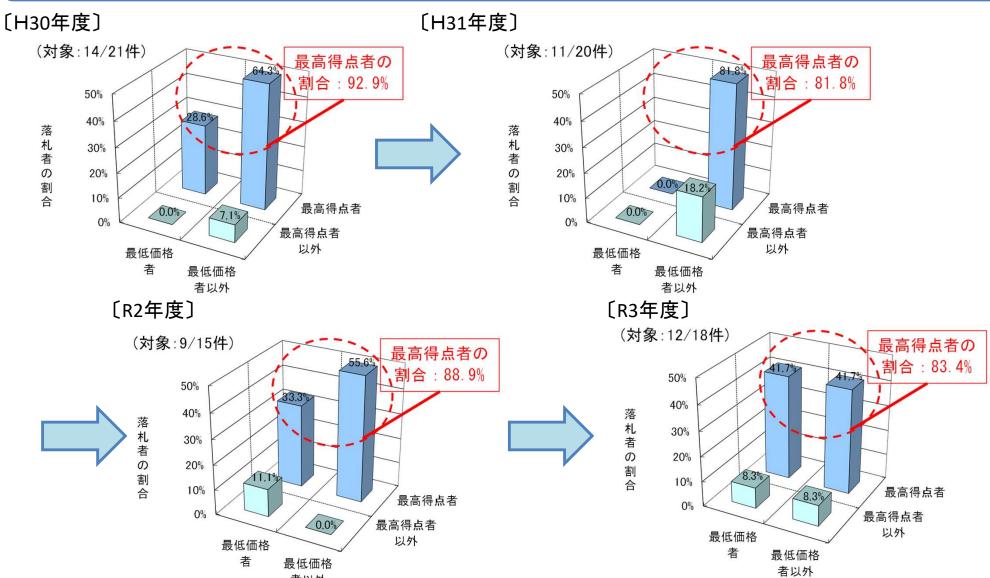


図 タイプA 落札者の内訳

# (5)落札者の傾向

### ② タイプBの落札者の傾向

■R3年度はタイプB適用工事のうち12件で競争が行われ、83.4%(10件)の工事で技術評価点の最高 得点者が落札。



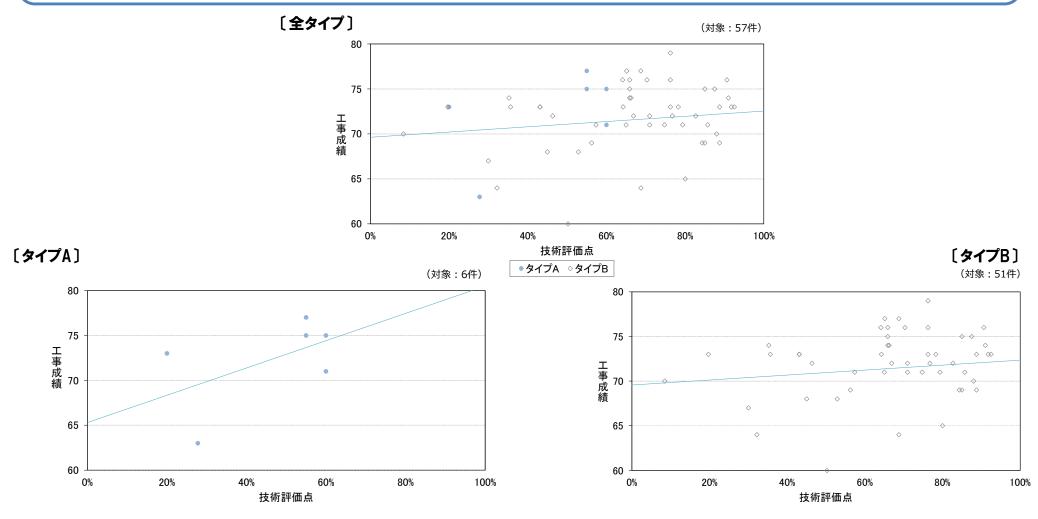
<sup>※</sup> 予定価格内入札者数が1者の工事を除いて整理 <sup>者以外</sup> 端数処理の関係上、グラフの合計が100%にならない場合がある

図 タイプB落札者の内訳

# (6)工事成績評定の結果

#### ① 技術評価点と工事成績評定点の相関

- 総合評価(全タイプ)の工事成績評定点は平均71.5点であった。
- 全タイプ及びタイプBでは技術評価点の得点率の高い者が工事成績評定点も高い傾向にある。
- タイプAはサンプル数が少なく傾向が確認できないものの、入札時の技術評価点得点率が低い者が落札した工事で低評点が発生している。



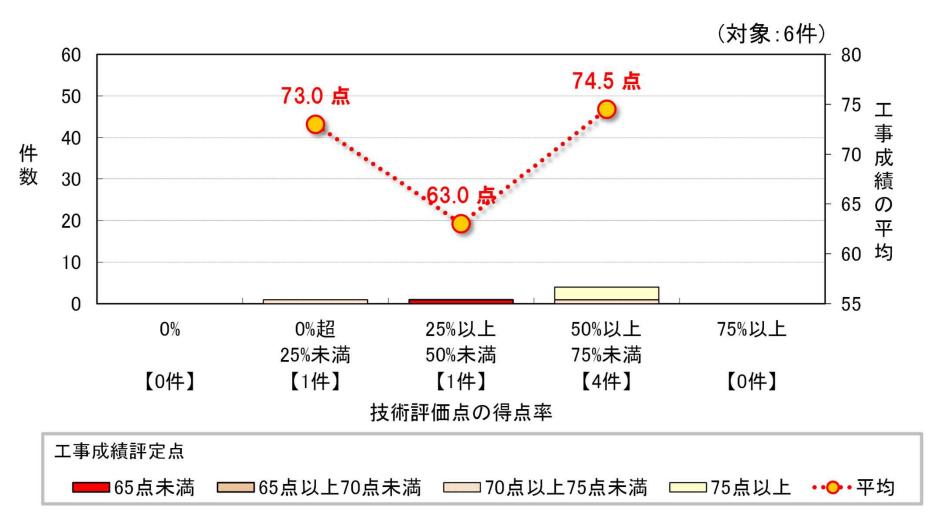
※ H30年度以降契約工事のうち、R3年度までに完成した工事を 対象に整理

図 技術評価点と工事成績評定点

# (6)工事成績評定の結果

### ②-1 タイプAにおける技術評価点と工事成績評定点

■ タイプAは技術評価点と得点率の相関性が見られないが、これはサンプル数が少ないことが主たる要因と思われるため、今後の注視が必要である。



※技術評価点:施工実績評価点

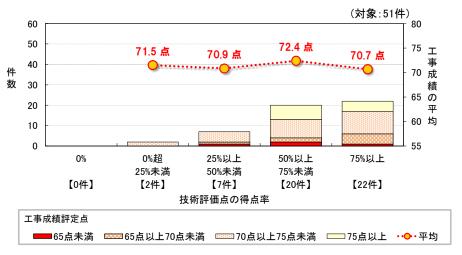
図 技術評価点と工事成績評定点の関係

# (6)工事成績評定の結果

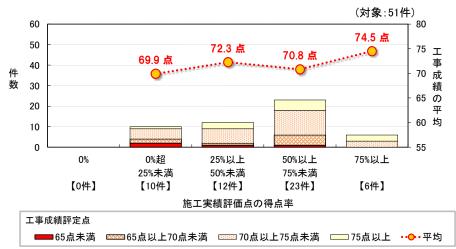
### ②-2 タイプBにおける技術評価点と工事成績評定点

■タイプBでは、「技術評価点」の得点率と「工事成績評定点」の間に相関性は見られないが、「施工 実績評価点」の得点率が高い者は「工事成績評定点」が高い傾向にある。

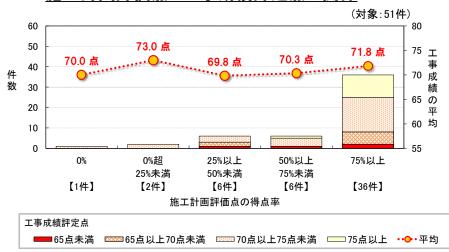
#### 技術評価点と工事成績評定点の関係



#### 施工実績評価点と工事成績評定点の関係



#### 施工計画評価点と工事成績評定点の関係



#### 図 技術評価点と工事成績評定点の関係

# (7)総括

	タイプA	タイプB
(1) 総合評価方式の実施状況	● R3年度は2件実施 ● 適用工事規模は平均約1億円	● R3年度は18件実施 ● 適用工事規模は平均約9億円
(2) 入札参加者数の推移	● R3年度は入札参加者が平均1.5者	● R3年度は入札参加者が平均3.6者
(3) 入札率の分布状況	● R3年度は平均落札率が85.1%	● R3年度は平均落札率が94.7%
(4) 技術評価点の得点状況	● R3年度は落札者の得点率の平均が19.7%	● R3年度は落札者の得点率の平均が71.2%
(5) 落札者の傾向	● R3年度はタイプA適用工事のうち1件で競争 が行われ、「最低価格者・最高得点者以外」 が落札	● R3年度はタイプB適用工事のうち12件で競争 が行われ、83.4%(10件)の工事で技術評価 点の最高得点者が落札
(6) 工事成績評定の結果	<ul><li>技術評価点と得点率の相関性が見られないが、サンプル数が少ないため、今後の注視が必要である</li></ul>	● タイプBでは、「技術評価点」の得点率と「工事成績評定点」の間に相関性は見られないが、「施工実績評価点」の得点率が高い者は「工事成績評定点」が高い傾向にある。